

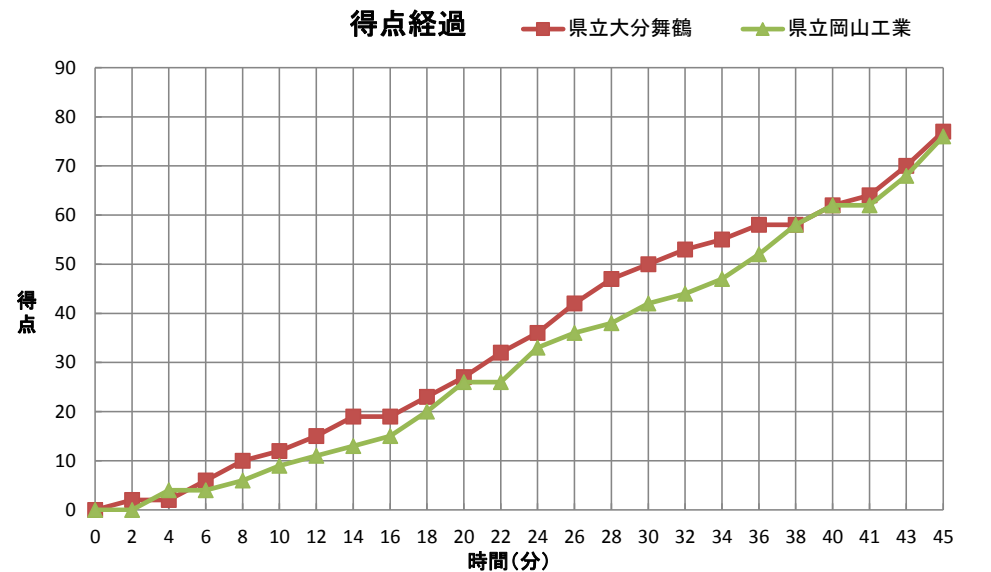


平成27年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第68回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

男 子							平成27年7月29日 12:50 開始						
1 回戦							島津アリーナ C						
◎ 県立大分舞鶴 77 (大分県)							76 県立岡山工業 (岡山県)						
12 1st 9 15 2nd 17 23 3rd 16 12 4th 20 15 OT 14													
番号	氏 名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏 名	得点	3P	2P	FT	反則
* 4	香川 泰斗	15	1	4	4	3	* 4	内田 星矢	9	1	3	0	1
* 5	スミス 安努隆	19	2	6	1	4	* 5	平 祐之介	14	3	2	1	4
6	石川 智章	-	-	-	-	-	6	坂口 亮	14	1	5	1	4
7	佐藤 淳哉	0	0	0	0	1	7	谷口 雄大	-	-	-	-	-
* 8	大宅 聡樹	6	1	1	1	3	8	西本 光騎	0	0	0	0	1
9	長谷川 聖	0	0	0	0	1	* 9	秋岡 和典	15	1	3	6	4
10	吉良 知将	3	0	1	1	2	10	吉田 涼馬	-	-	-	-	-
* 11	木下 碧人	19	3	4	2	4	11	岩藤 健太	-	-	-	-	-
12	泥谷 椋平	-	-	-	-	-	12	鈴木 翔大	-	-	-	-	-
13	蠣原 弘太郎	0	0	0	0	0	* 13	大山 直登	11	0	5	1	3
* 14	赤嶺 充希	15	0	7	1	1	* 14	黄 杲路	13	0	6	1	1
15	小野 駿斗	-	-	-	-	-	15	伊橋 大雅	-	-	-	-	-
コーチ	齋藤 哲也					0	コーチ	岸本 哲也					0
Aコーチ	田所 伸						Aコーチ	坂屋 歩					
合 計		77	7	23	10	19	合 計		76	6	24	10	18
主審: 大山 賢史													
副審: 井関 健一郎													

得点経過



CTO	1・2P		3・4P		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	36:08	39:48	:	44:21	:	:
TeamB	18:07	:	39:26	39:37	:	44:55	:	:

〔 戦 評 〕

両チームともハーフコートマンツーマンでゲームが始まる。第1P互いに硬さが見られ、ターンオーバーが多くイーージーシュートも思うように決まらない。互いにペースを掴むことなく僅かにリバウンドの勝った大分舞鶴が12対9とリードして第1P終了。

第2Pも一進一退の攻防が続く、大分舞鶴は#4、#5のペイントエリアのシュートとオールコートマンツーマン・2-3ゾーンのチェンジングディフェンスで揺さぶりをかけるが、岡山工業も#14の内外角のシュートで一歩も譲らない。27対26と大分舞鶴1点リードで前半終了。

第3P大分舞鶴がペースを掴む。#14の連続得点、#11のドライブ・バスカン44対36と突き放しにかかる。岡山工業も#6のドライブや3Pで粘るも50対42と大分舞鶴リードで終了。

第4P大分舞鶴#5の活躍で10点前後のリードを保ちながら試合は終盤に進んでいく。残り5分58対49で大分舞鶴リード。ここから岡山工業は驚異の粘りを見せる。#9の3Pで6点差にすると#13のシュートで4点差。大分舞鶴たまたまタイムアウトをとるが流れは変わらず、#6のバスカン、#14のポストプレイで同点。#6のスクープシュートでついに60対58と逆転する。大分舞鶴も#14がゴール下で踏ん張り、62対62で延長戦へ。

延長開始、大分舞鶴#14の連続得点で抜け出すも、岡山工業#13の見事な活躍で一進一退の展開となる。残り1分岡山工業2点リード。互いの1プレイごとのタイムアウト後、大分舞鶴の攻撃で、残り6秒で放たれた#4の3Pが見事にゴールネットに吸い込まれ、大激戦に終止符が打たれた。大分舞鶴が77対76で逆転勝利を掴んだ。

戦評: 鈴木 雅之

記録: 南陽高校